

会 議 議 事 録

1 会議名	令和4年度長岡市社会資本総合整備計画等事業評価監視委員会 【議題1：長岡市通学路の安全対策（第2期）（防災・安全）】 （分野：道路事業）
2 開催日時	令和5年2月24日（金曜日） 午後1時30分～午後2時55分
3 開催場所	アオーレ長岡 大会議室
4 出席者名	<p>（委員）</p> <p>大塚委員長 柏原副委員長 波形委員 土屋委員 矢澤委員 佐藤委員</p> <p>（事業説明者）</p> <p>・長岡市 中川土木部長 土木政策調整課：松木課長、松井課長補佐、 岡村事業推進係長 道路管理課：石黒課長、片桐維持係長 道路建設課：水澤課長、桜井課長補佐、 金子工務第一係長、吉井工務第二係長 地域建設課：清田課長、池嶋課長補佐、 稲田工務第一係長、渡邊工務第二係長 都市施設整備課：有賀課長、長谷川課長補佐、 小柴都市整備担当係長 学校教育課：佐山課長、三津輪学校支援係長</p> <p>（事務局）</p> <p>土木政策調整課：諏佐課長補佐、櫻井調整係長、 池澤主査、板橋主事</p>
5 議題	<p>(1) 社会資本総合整備計画の概要について</p> <p>ア 長岡市通学路安全プログラム イ 本整備計画の概要 ウ 事業の内容</p> <p>(2) 評価結果の内容について（審議事項）</p> <p>ア 成果の達成度 イ 事業の効果発現要因の整理</p> <p>(3) 今後の通学路の安全対策について（審議事項）</p> <p>ア 今後の社会資本整備の方策</p> <p>(4) 今後のスケジュールについて</p> <p>ア 委員会終了後の手続き</p>

6 審議結果の概要	<p>議題(1)について 事業説明者より資料で説明し、理解を得た。</p> <p>議題(2)、(3)について 指標3については委員会より評価を「○」とする提案が出された。 それ以外については、提案のとおり、承認された。</p> <p>議題(4)について 事業説明者より資料で説明し、理解を得た。</p>
7 審議の内容	
<p>委員長</p> <p>土木政策調整課長補佐</p> <p>委員長</p> <p>土木政策調整課長</p> <p>委員長</p> <p>土木政策調整課長</p> <p>委員長</p> <p>土木政策調整課長</p> <p>委員長</p> <p>委員</p>	<p>計画名「長岡市通学路の安全対策（第2期）（防災・安全）」の事業評価です。 まずは、（1）社会資本総合整備計画の概要について、説明をお願いします。</p> <p>（資料により説明）</p> <p>この説明に対して、ご質問等がありますか。 資料8ページの指標対象とそれ以外とあるのは、どのようなことを指していますか。</p> <p>赤字の117箇所の指標対象と右側の268箇所の違いですが、117箇所が社会資本整備総合交付金を利用し対策を行ったものです。それ以外の268箇所は、社会資本整備総合交付金は活用せずに、注意看板やカーブミラーなどの軽微な対策を行ったものです。今回評価いただくのは、117箇所についてです。</p> <p>「要対策箇所」と書かれていますが、実際に対策を行った箇所は異なるのではないかと思います。対策した数字が示されているのでしょうか。</p> <p>この数字は、目標設定をした時点において対策が必要な箇所が市道路管理者で385箇所あり、そのうち、117箇所が対象事業となるものです。引き出しが出ている146箇所はPDCAサイクルの結果、令和3年度末にはそこまで増加をしています。そのうち、5ヵ年で対策した箇所について今回評価いただくということです。</p> <p>この数字は要対策箇所であって、実施したものとは限らないということでしょうか。</p> <p>すべて終わっているわけではありません。</p> <p>わかりました。</p> <p>対策箇所の抽出方法ですが、学校やPTAからの意見を吸い上げたという認識でよろしいでしょうか。または市が別の方法で調べ</p>

	たものも入っていますか。
土木政策調整課長	資料4ページにありますように、教育委員会、警察、道路管理者が連携し、合同点検をして拾い上げて決めています。
委員	双方向からということによろしいでしょうか。
土木政策調整課長	その通りです。
委員	ありがとうございました。
委員	歩道整備と路肩整備という方法があるとのことですが、地元の要望なども踏まえてどのように選ばれるのでしょうか。 また、事業費における交付金の割合は年々変わってきているのでしょうか。
土木政策調整課長	1つめの質問については、資料17ページのとおり、歩道整備・路肩整備・グリーンベルトの3つの手法を使っています。19ページ以降に事例を紹介していますが、22ページは路肩拡幅で、路肩を広げて区画線で処理し、歩行空間を確保するものです。19ページは歩道整備で、白く見えているブロックで歩道と車道を分けています。こちらのほうがグレードの高い、より安全な対策となります。19ページは国道の抜け道で交通量が多いため、グレードの高い整備をしています。23ページは、古い側溝に蓋がなく、歩くスペースの無かったところに蓋をかけるという手法です。現地状況と地元の皆様の事情を聞いたうえで方法を選んでいきます。 次に2つ目の質問については、事業の補助率はこれまで同様55%となっています。
委員長	対策を実施したものは完成形ということでしょうか。グレードという話がありましたが、とりあえず対策をした後に、他の対応をするのでしょうか。
土木政策調整課長	現段階では完成と捉えています。ただ、当プログラムが終わりではなくPDCAサイクルで繰り返しますので、状況が変わるようであれば将来的に変わる可能性はあります。
委員長	プログラム自体は続くが、今回の整備は終了し、また新たなものが立ち上がり、繰り返し検討されるということによろしいですか。
土木政策調整課長	はい。毎年4～5月に小学校と一緒に危険箇所を確認するので、プログラム自体は続けていきます。ただ、今回の計画はこれで終了となります。
委員長	対策箇所の数が前回より増えるということは、見直しによって増加したということですね。対策した内容が完成形とするならば完了数の増加によって、数は増えないという理解でよいでしょうか。

土木政策調整課長	そのとおりです。要対策箇所数自体は可能性としては増えることも見込まれますが、整備を行い、未完了数が減っていくことを目指しています。
委員長	わかりました。
委員	私たちは車のハンドルを握る立場ですので、通学ルートを通る時に、運転者側も子供側も安全が確保できるということで、この事業の推進はありがたいと感じています。踏切などでヒヤッとする場面がまだたくさんあるので、地域と学校との関係性の中で、安全に通学できる仕組みづくりをより推進いただけるとありがたいです。質問は特にありません。
委員長	ありがとうございます。 資料30ページの一覧表を見ると、歩道整備にはお金がかかっていることがわかりました。
委員長	次に移ります。(2) 評価結果の内容について、説明をお願いします。
土木政策調整課長補佐	(資料により説明)
委員長	この説明に対して、ご質問等がありますか。
副委員長	消雪パイプの指標の従前値と評価値の分母が変わっているのはなぜですか。
土木政策調整課長	資料36ページで、従前値に消雪パイプによらずに安全対策ができる箇所も分母に含まれていました。本来は入れるべきではありませんので、評価値ではそれを除きました。現段階で従前値からも除くのが正しいかとも思いましたが、同様のケースが過去にあった際、国土交通省より、計画終了時点で従前値と評価値の数字は変更しないようにという指導があったため、このような違いが生じています。
副委員長	わかりました。
委員	踏切整備について、地下道へ誘導で対処しているとのことですが、整備をせずに地下道への誘導を行っているということでしょうか。
都市施設整備課長	踏切が狭く通学時に児童と車が錯綜して危険という声が学校から寄せられるケースがあります。ただ踏切数は多く、全てを拡幅することが困難ですので、取付道路の歩道の有無や迂回できる場所がないか、地元のサポートなど様々な観点から、どれが一番効果的かを考えます。その中で今ほど申し上げた残り1箇所のよう、交通量や人数を考えたときに、すぐそばに地下道があるので、通学路の変更も踏まえて検討しているところです。

委員	地元との話し合いの結果、地下道への誘導になったということでしょうか。
都市施設整備課長	地元からは踏切を広げてという要望がありますが、相当な費用がかかることや費用対効果を見ながら丁寧に説明し、地下道でどうかということと話をしています。
委員	評価としては未達成ということで、残ることになるのでしょうか。
都市施設整備課長	対策が確定していないので未達成としています。
委員	児童の列に車が突っ込むといったニュースでは、当然責任は運転者にあると思うが、インタビューで地元の人が昔からあそこは危険だった等の発言もあって、事故などが起きてしまうと、道路管理としての問題も出てきます。歩行空間確保の対策率80%は順調に推移しているものと感じるが、安全確保の観点からも、なるべく優先順位を上げて執行してもらえると助かります。
土木部長	そのような事故を受けて、長岡市でも緊急点検を実施しました。これまでの国の制度を活用した事業の他に、市独自で交差点で柱を立てたり、照明を付けたり、他にも事故防止対策に努めているところです。
委員	歩道空間の確保について、新しい住宅街には子供も増え、交通量も急に増えるので、今後の改善で未開発の部分があればぜひ着目してほしいです。 また、消雪パイプの対策箇所が今後増えるのかについてもお聞かせください。 踏切で地下道を利用する際、下校時間が遅くなる児童の安全確保についても配慮いただけたらと思います。
道路管理課長	通学路の歩道消雪パイプは平成19年度から着手しており、歩道消雪パイプを設置できる範囲として学校正門から半径200m程度の範囲で整備を進めています。この条件に合う整備は、小学校はほぼ完了しています。引き続き中学校も順次計画的に進めていきます。
都市施設整備課長	地下道については、ご指摘の通り、地下道と踏切がどの程度離れているか、そこに至るまでに危険がないか、防犯カメラが必要か、パトロールの方がついてくれくかなど、いろいろ協議しながら検討していきたいと思っています。
委員長	では、指標の達成度を確認をしますが、指標1は「○」でよろしいでしょうか。
委員	はい。
委員長	それでは指標1については承認することとします。 指標2は「△」ということですが、これまでの説明を踏まえる

	と「○」でもいいように感じたがどうでしょうか。
都市施設整備課長	従前値を設定した平成29年度には4箇所終了を設定し、実際に終えています。令和2年度に1つ増えた対策箇所については検討している途中であるといった状況です。
委員長	先ほどのお話では、目標値自体が見込みの数字で100%としていたが、5件中1件は費用対効果などの関係で不要であるということで、目標値に入らないように思いますが。皆さんはどう考えられるでしょうか。
副委員長	私も100%でいいのかなと思いました。
委員長	未達にして残した方が将来に可能性を残すことにはなりますが、踏切は費用対効果で厳しいというのであればどうかとも思いますが。
都市施設整備課長	これまでも、要望のある箇所すべてを拡幅しなくても迂回路でいいというところはそのようにして、対策完了という整理にしています。
委員長	ではしばらく考えていただいて、次の指標3「△」についていかがでしょうか
委員	対応を検討している箇所が、4年度末までに話が成立すれば「○」ということでしょうか。
土木政策調整課長	地元との協議がまとまり次第整備します。踏切と違い、消雪パイプは単純に1箇所できておらず地元との検討中ですので、整い次第実施します。
委員	消雪パイプの方は話がつく前提であれば「○」でよいと思います。ただ、踏切は「○」にして話が終わったようにしてしまうと、地元のこともあるので、「△」でもよいのかなと思います。
委員	私も同意見で、踏切についてはもう一步地元との協議を詰めて、子供の安全確保のためにという話をさせていただきたいと思います。消雪パイプはこれでよいと思います。
委員	同じく、地域の方々の声を受け止めたいという改善ということで、踏切は「△」、消雪パイプは「○」でよいと思います。
委員	評価は%で見るか箇所で見ると。分母の違う%を比べることがどうなのかということも申し上げたい。結論から言えば、地元にとって今後の整備が進むのであれば「○」でもいいですし、あえて「△」にしてこれからは頑張っていくといった考えにしてもいいと思います。
委員長	ありがとうございます。 では、指標2につきましてはいろいろな意見を踏まえて委員会

委員	<p>としては、「△」ということによろしいでしょうか。</p> <p>はい</p>
委員長	<p>指標3ですが、100%に近い数値で残りの1件についても見通しがついているということと、行政の方が一生懸命対応しているということを踏まえ、この委員会の場では「○」によろしいかと思えますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p> <p>では、(3)今後の通学路の安全対策について説明をお願いします。</p>
土木政策調整課長補佐	<p>(資料により説明)</p>
委員長	<p>今後の社会資本整備のアイデアなどもありましたら、あわせてご発言をお願いいたします。</p>
委員	<p>道路管理者の役割を引き続きお願いしたいと思います。新潟特有の気象条件への対策も必要ですので、学校、地域、警察などが連携し、地域ぐるみで対策をお願いしたいと思います。特に郊外の学校に熊やいのししが出るなど、道路管理者とは別の観点も必要になってきますので、通学環境の整備に努めていただきたいと思います。</p>
土木政策調整課長	<p>長岡市は区域が広く、地域性が多岐に富んでいます。気候や鳥獣など、いろいろな要素があると思いますので、道路管理者の観点到にプラスし、交通安全プログラムを実行していきたいと思います。</p>
委員	<p>ハード整備は進めていただいているが、通学路には車であったり不審者、先ほどの話にもあった自然的要素など、いろいろな危険があります。ハードが生きていくためにはソフト事業や地域の皆さんとの連携があってこそということで、協議会との連携をこれまで以上にお願いしたいと思います。</p>
土木政策調整課長	<p>承知いたしました。道路管理者の観点や教育委員会だけではなく、諸方面からの要望を広く聞き入れて進めていくことが大事だと改めて感じました。</p>
委員長	<p>資料20ページの写真は私がたまたまよく通る道なんですけど、歩道橋を架けていただいたが、冬期は雪が多くて歩道が通れず、橋の上の車道を通ってました。車が通る橋も狭く、1台通るのもやっとなかなか非常に危険に感じました。整備していただいたのはよいですが次の課題もあると感じますので、もう少し頑張ってくださいといいかなと思いました。</p>

委員	そこは橋を渡った先の東側に歩道がなく、運転側も慎重さが必要です。
委員長	まだ危険な箇所として残っているという意識をもっていただけるとありがたいです。
委員	地域の事情や高齢化などでソフト対策が追い付いていかないことがないように、住宅地の開発と共に、そのあたりの連携もお願いします。
道路管理課長	ご指摘の場所は除雪路線になっていますが、除雪が悪いという苦情を受けたことはあります。すべての歩道が除雪路線ではありませんが、消雪パイプのない通学路の歩道除雪は、今後もしっかり取り組んでいきたいと思えます。
道路建設課長	佐藤委員から、東側の方という話がありましたが、PDCAサイクルの中で意見をいただき検討していくこととなりますので、ご理解いただきたいと思えます。
委員長	では（４）今後のスケジュールについて、説明をお願いします。
土木政策調整課長補佐	（資料により説明）
委員長	ご質問等ありましたら、発言をお願いします。 このスケジュール通りに実施いただくということですので、了承したいと思います。 ご質問等がなければ、これにて議事を終了いたします。